

進行管理部会の皆さまにやっていただきたいこと

お手元に用意していただくもの

- ・個別計画進行管理総括表-2：送付した資料
- ・個別計画進行管理総括表-1：送付した資料
- ・基幹計画進行管理表：送付した資料
- ・事業進行管理表：送付した資料（前回の意見を反映したもの等）

今回ご意見をいただくのは、個別計画進行管理総括表4計画と基幹計画進行管理表2計画です。今回送付した事業進行管理表を漏れなく見ていただき、同じく今回送付した「事業進行管理分担表」の自分が属しているグループの担当している計画について、第2回進行管理部会までに必ず意見等についてまとめてください。

《個別計画進行管理総括表-2》について …右及び裏面の図を参照

I：総合計画基本構想の「取組みの方向」に対する市の総括コメントを記入してあります。なお、評価については、事業の自己評価に従って以下のとおり自動的に評価しています。

- ・A 『理念（最上位の目標）＝総合計画基本構想の「取組みの方向」』に向けたこの間の取組みは、達成できた
- ・B 『理念（最上位の目標）＝総合計画基本構想の「取組みの方向」』に向けたこの間の取組みは、ある程度達成できた
- ・C 『理念（最上位の目標）＝総合計画基本構想の「取組みの方向」』に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった

※「施策体系評価」と「事業評価の状況」の欄に（ ）の記載があるものは、「審議会等が妥当と考える評価区分」が市の評価と異なる場合の、審議会等の評価区分です。

★：進行管理部会の意見を、記入する箇所になります。

- ① I の欄に書かれていることに対する意見等をまとめてください。
- ② 審議会等が妥当と考える評価区分については、自動的に評価されています。

《表面》

【個別計画進行管理総括表-2】

■ *商工業振興計画・小坪海浜地域活性化計画《未策定》

◇個別計画の理念（最上位の目標）＝総合計画基本構想の「取組みの方向」の評価

取り組みの方向
市街地を囲むみどり豊かな山や青い海の臨海海岸や小坪海浜、これらの臨海の魅力を国内外に向けて発信し続け、人が集い、ふれあいの輪が広がり、地域のにぎわいが生まれるまちをつくります。
自然、文化、人という臨海の恵まれた地域資源を、磨き、つなぎ、生かすことにより、地域産業の活性化や個性豊かな産業の創出を図るとともに、住む人、働く人、訪れる人が一体となって、成熟した魅力あるまちをつくります。

施策体系別評価による総括コメント
臨海海岸安全活用事業については、新型コロナウイルス感染症が増加したことによる自主的な外出の自粛のため、来場者数は目標に届かなかったが、新たに環境に配慮した取組の旗印としてブルーフラッグを取得・活用したこと、目的は概ね達成できた。
商工業振興事業及び小坪海浜地域活性化事業は、それぞれの計画の策定は予定より遅れているが、状況に合わせてコロナ禍における事業支援、漁港の新たな活用や漁港を中心とした活性化に向けた検討に着手するなど目的は概ね達成できた。以上のことから、総括として令和4年度の取組の達成状況は、ある程度達成できた。と見える。

審議会・懇話会等の総括意見（個別計画の賛否を記載）
★

個別計画の評価2(施策体系別) B 審議会等が妥当と考える評価区分

◇施策体系別評価

施策体系別評価	事業名	コメント	事業評価の状況			審議会・懇話会等の意見
			(a)	(b)	(c)	
1	臨海海岸安全活用事業	7月末から新型コロナウイルス感染症が増加したことによる自主的な外出の自粛のため、来場者数は目標に届かなかったが、新たに環境に配慮した取組の旗印としてブルーフラッグを取得・活用したこと、目的は概ね達成できた。	1	(b)	(c)	（事業進行管理表欄再掲） 事業評価については妥当と考える。
2	商工業振興事業	振替商工業振興計画の策定に着手できていないが、経営相談窓口の拡充や創業スクールのオンデマンド配信などにアフターコロナを見据えた商工業事業者の支援を行ったことから、目的は概ね達成できた。	1	(b)	(c)	（事業進行管理表欄再掲） 事業評価については妥当と考える。
3	小坪海浜地域活性化事業	振替小坪海浜地域活性化計画の調査・研究は実施したが、策定に着手できていないが、				（事業進行管理表欄再掲） 事業評価については妥当と考える。

II：本来、施策体系別に評価するところですが、計画がまだできていないため、該当するリーディング事業について記載しています。これについては、前回の部会で意見を出していただいたため、今回はこの部分への意見は不要です。

裏面についても、

★：進行管理部会の意見を記入する箇所になります。
意見等をまとめてくださいますようお願いします。

Ⅲ：仮の個別計画ごとに前回見ていただいた事業進行管理表の評価状況を確認していただき、計画間の評価に見られるバラつき（評価基準の解釈のずれ）を是正し、適正な評価水準を保つ観点からの意見があればお願いします。
例：「比較すると〇〇事業の評価が厳しすぎる」等

Ⅳ：この仮の個別計画について、計画を効果的に推進する観点から、他の個別計画や住民自治協議会との連携の必要性について思うことがあれば意見をお願いします。

Ⅴ：計画に位置付けられている事業に対し、推進や改善に向けて今年度の実施あるいは来年度の事業計画の立案に関する意見や提案があればお願いします。

Ⅵ：この仮の個別計画を、今後策定する際に、考慮や検討する必要があると思われる意見があればお願いします。



《裏面》

◇審議会・懇話会等の意見

＜各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見＞

Ⅲ

＜計画を越えた連携についての意見（他の計画や住民自治協議会等との連携）＞

Ⅳ

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜事業の推進・改善に向けて意見・提案＞（今年度、来年度に向けた意見）

Ⅴ

＜個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞（次期計画に向けた意見）

Ⅵ

《個別計画進行管理総括表-1》について …右の図を参照

Ⅶ：上段については、総合計画基本構想の「取り組みの方向」に対する8年間の取り組みに係る総括を記入してあります。なお、評価については、①個別計画の評価2（政策体系別）（再掲）と②目標【2022年度】に対する評価をふまえて自己評価が入力されています。

★：進行管理部会の意見を、記入する箇所になります。

・Ⅶの欄に書かれているものを見て、評価が妥当かどうかや意見等をまとめてください。

・進行管理部会が妥当と考える評価区分について、

- ・A 『理念（最上位の目標）＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」』に向けたこの間の取組みは、達成できた
- ・B 『理念（最上位の目標）＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」』に向けたこの間の取組みは、ある程度達成できた
- ・C 『理念（最上位の目標）＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」』に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった

のうち、一つを記入してください。

Ⅷ：担当課が、目標、実績を記入し、8年間の取り組み状況に係る目標に対する評価欄に自己評価を記入しているものです。

★：進行管理部会の意見を、記入する箇所になります。

・進行管理部会が妥当と考える評価区分について、

- ・(a) 達成できた
- ・(b) 概ね達成できた
- ・(c) 達成できなかった

のうち、一つを記入してください。

【個別計画進行管理総括表-1】

第4節 取り組みの方向5

計画名：商工業振興計画・小坪海浜地域活性化計画【未策定】

地域資源を生かした個性豊かなにぎわいのあるまち

◇個別計画の理念（最上位の目標）＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	市街地を囲むみどり豊かな山や青い海の逗子海岸や小坪漁港、これらの逗子の魅力を国内外に向けて発信し続け、人が集い、ふれあいの輪が広がり、地域のにぎわいが生まれるまちをつくり出す。 自然、文化、人という逗子の恵まれた地域資源を、磨き、つなぎ、生かすことにより、地域産業の活性化や個性豊かな産業の創出を図るとともに、住む人、働く人、訪れる人が一体となって、成熟した魅力あふれるまちをつくり出す。
---------	---

◇個別計画の評価1（①+②の評価）

8年間の取り組みに係る総括コメント	逗子海岸の海水浴客数は順調に推移していたが、2020年からの新型コロナウイルス感染症が増加したことによる自主的な外出自粛のため来場者は目標に届かなかったが、逗子海岸を年に数回上利用する人の割合が目標の70%を達成した。 総合的には「取組の方向」に向けたこの間の取組の達成状況はある程度達成できたと思われる。	個別計画の評価1 （8年間の取り組みに係る総括評価）	B
審議会・総話会等の総括意見（個別計画の総話会等が作成）	★	審議会等が妥当と考える評価区分	★

◇個別計画の評価2（施策体系別）（再掲）

個別計画の評価2（施策体系別）	B	審議会等が妥当と考える評価区分	B
-----------------	---	-----------------	---

②目標【2022年度】に対する評価

目標1	★逗子海岸が安全で快適なファミリービーチとして維持されており海水浴客数が40万人を超えている。				
実績	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	237,200人	323,000人	201,300人	294,300人	364,000人
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	334,800人	66,600人	30,000人	29,500人	
目標に対する評価	☐ (a) 達成できた ☒ (b) 概ね達成できた ☐ (c) 達成できなかった		審議会等が妥当と考える評価区分		☐ (a) 達成できた ☐ (b) 概ね達成できた ☐ (c) 達成できなかった

《基幹計画進行管理表》について …右及び裏面の図を参照

IX：総合計画基本構想の「めざすべきまちの姿」に対する市の総括コメントを記入してあります。なお、評価については、計画の評価に従って以下のとおり自動的に評価されています。

- ・◎ 『理念（最上位の目標）＝総合計画基本構想の「めざすべきまちの姿」』に向けたこの間の取組みは、達成できた
- ・○ 『理念（最上位の目標）＝総合計画基本構想の「めざすべきまちの姿」』に向けたこの間の取組みは、ある程度達成できた
- ・△ 『理念（最上位の目標）＝総合計画基本構想の「めざすべきまちの姿」』に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。
- ・× 『理念（最上位の目標）＝総合計画基本構想の「めざすべきまちの姿」』に向けたこの間の取組みは、達成できなかった

IX

※「基幹計画に位置づけられる個別計画の評価（施策体系別）結果」欄に（ ）の記載があるものは、「審議会等が妥当と考える評価区分」が市の評価と異なる場合の、審議会等の評価区分です。

★：進行管理部会の意見を、記入する箇所になります。

基幹計画進行管理表も裏面に記入箇所がありますのでご注意ください。

X：

- ①IXの総括コメント及びその下に記載してある総括評価結果に対し、意見等をまとめてください。
- ②進行管理部会が妥当と考える評価区分については、自動的に評価されています。



XI：仮の基幹計画ごとに個別計画進行管理総括表の評価状況を確認していただき、計画間の評価に見られるバラつき（評価基準の解釈のずれ）を是正し、適正な評価水準を保つ観点からの意見をお願いいたします。

例：「比較すると〇〇計画の評価が厳しすぎる」等

《表面》

【基幹計画進行管理表】



■ *都市デザイン計画 《未策定》

4 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち

基幹計画の理念（最上位の目標）＝総合計画基本構想の「めざすべきまちの姿」の評価

わたしたちは、選手が持つ豊かな自然環境やコミュニティの質の高いまちを未来に継承していきます。
そのため、土地利用の基本方針を尊重し、社会ニーズを的確にとらえ、長期的な視点に立った都市のデザインを描いて、計画的なまちづくりを進め、誰もが安全で安心して快適に暮らせるまちをめざします。

◇市の評価

8年間の取り組みに係る総括コメント		基幹計画の評価
・5つの個別計画のうち、策定されている計画は4つである。 ・安全安心アクションプランについて、前年度自己評価はA評価だったが、個別事情を抱え進捗が順調とみなせなかったためB評価とした。 ・他4つの計画については、前年度と変わらない評価だった。 ・総括としては、「めざすべき街の姿」に向けた令和3年度の取組はある程度達成できたといえる。しかしながら、個別事情を抱え、進捗が順調とみなせない事業もあるため、安全で安心な、快適な暮らしを支えるまちを目指すにあたり、効果的な手法を検討するなど、各々の事情に合わせて取り組みを推進する必要がある。		△

◇基幹計画に位置づけられる個別計画の「個別計画の評価1」の結果

1 基幹計画策定後の状況により、かつ評価がなされるもの	2 政策に強く、影響の大きい安全なまち	3 歩行者と自転車優先するまち	4 都市環境に優れた快適なまち	5 協議関係が強化された、協働が促進されたまち
住環境形成計画	安全安心アクションプラン	歩行者と自転車優先するまちアクションプラン	* 公共施設等 総合管理計画(未策定)	* 商工業振興計画・小規模商業活性化計画(未策定)
(B)	(B)	(C)	(B)	(B)

◇審議会・懇話会等の意見／【Check】の観点からの意見等

＜審議会・懇話会等総括意見＞		審議会等が妥当と考える評価区分
X		△
＜各個別計画の評価状況についての意見＞		
XI		

裏面についても、

★：進行管理部会の意見を、記入する箇所になります。
意見等をまとめてくださいますようお願いします。

Y：仮の基幹計画に記載されている個別計画に対し、推進や改善に向けて今年度の実施あるいは来年度の事業計画の立案に関する意見や提案があればお願いします。

Z：この仮の基幹計画を今後策定する際に、考慮や検討する必要がある都市われる意見があればお願いします。



《裏面》

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

<計画の推進・改善に向けて意見・提案>（今年度、来年度に向けた意見）

Y

<基幹計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項>（次期計画に向けた意見）

Z